

(再評価)

資料3-2-②

関東地方整備局  
事業評価監視委員会  
(平成26年度第4回)

# 一般国道16号 八王子拡幅

平成26年10月10日  
国土交通省関東地方整備局

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道16号	八王子拡幅	L = 2.7 km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
33,700~46,800	4	関東地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	172億円	22億円	194億円
うち残事業分	10億円	8.0億円	18億円
基準年における 現在価値 (C)	268億円	8.5億円	276億円
うち残事業分	9.4億円	3.2億円	13億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成29年度			
単年便益 (初年便益)	18億円	2.1億円	1.05億円	22億円
基準年における 現在価値 (B)	363億円	41億円	20億円	424億円
うち残事業分	93億円	3.5億円	0.58億円	97億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	148億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.2%
費用便益比（残事業）	7.7
経済的純現在価値（残事業）	84億円
経済的内部収益率（残事業）	38.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	33,700～46,800	±10%	1.0～1.8
事業費	172億円	±10%	1.5～1.5
事業期間	38年	±1年	1.5～1.6

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	33,700～46,800	±10%	7.1～8.5
事業費	10億円	±10%	7.1～8.3
事業期間	2年	±1年	7.4～7.8

## 交通状況の変化

事業名：八王子拡幅（事業全体）

（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新築・改築道路[八王子拡幅]:2.7km	交通量	[台/日]	26,800	38,500	
	走行時間	[分]	13	4	
	走行時間費用	[億円/年]	63.86	37.14	
②主な周辺道路	八王子BP:2.9km	交通量	[台/日]	37,600	33,000
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	37.17	30.98
	国道20号:3.4km	交通量	[台/日]	46,100	43,100
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	63.42	59.55
	ひよどり山道路:3km	交通量	[台/日]	21,300	17,300
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	25.27	16.62
③その他道路合計:557.5km	走行時間費用	[億円/年]	3,121.00	3,147.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:569.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,310.72	3,291.46	19.26

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 交通状況の変化

事業名：八王子拡幅（残事業）

（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新築・改築道路[八王子拡幅]:2.7km	交通量	[台/日]	31,100	38,500	
	走行時間	[分]	7	4	
	走行時間費用	[億円/年]	40.07	37.14	
②主な周辺道路	八王子BP:2.9km	交通量	[台/日]	35,500	33,000
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	34.19	30.98
	国道20号:3.4km	交通量	[台/日]	45,200	43,100
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	62.00	59.55
	ひよどり山道路:3km	交通量	[台/日]	21,000	17,300
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	24.96	16.62
③その他道路合計:557.5km	走行時間費用	[億円/年]	3,135.16	3,147.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:569.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,296.38	3,291.46	4.92

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名：八王子拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成26年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	



(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東内陸ブロックにおける既存路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 八王子拡幅(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.17	2.7	0.46	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-38年目	S 54	3.9461	86.9	1.07	4.44		
-37年目	S 55	3.7943	92.4	1.07	4.01		
-36年目	S 56	3.6484	94.8	1.07	3.76		
-35年目	S 57	3.5081	95.8	1.07	3.58		
-34年目	S 58	3.3731	96.8	1.07	3.40		
-33年目	S 59	3.2434	98.7	1.07	3.21		
-32年目	S 60	3.1187	99.5	1.07	3.06		
-31年目	S 61	2.9987	101.2	2.89	7.82		
-30年目	S 62	2.8834	101.0	0.31	0.81		
-29年目	S 63	2.7725	101.5	3.42	8.53		
-28年目	H 1	2.6658	104.2	2.69	6.30		
-27年目	H 2	2.5633	106.5	2.58	5.67		
-26年目	H 3	2.4647	109.1	25.04	51.66		
-25年目	H 4	2.3699	110.6	5.56	10.88		
-24年目	H 5	2.2788	110.9	11.21	21.03		
-23年目	H 6	2.1911	110.8	0.52	0.93		
-22年目	H 7	2.1068	109.9	3.87	6.77		
-21年目	H 8	2.0258	109.5	0.11	0.18		
-20年目	H 9	1.9479	110.4	0.00	0.00		
-19年目	H 10	1.8730	109.9	3.89	6.06		
-18年目	H 11	1.8009	108.4	12.01	18.22		
-17年目	H 12	1.7317	107.2	9.89	14.58		
-16年目	H 13	1.6651	105.7	0.26	0.38		
-15年目	H 14	1.6010	103.8	5.43	7.64		
-14年目	H 15	1.5395	102.3	3.05	4.20		
-13年目	H 16	1.4802	101.0	1.32	1.77		
-12年目	H 17	1.4233	99.6	0.82	1.07		
-11年目	H 18	1.3686	98.7	3.49	4.41		
-10年目	H 19	1.3159	97.6	7.65	9.42		
-9年目	H 20	1.2653	96.8	7.05	8.42		
-8年目	H 21	1.2167	95.6	4.01	4.65		
-7年目	H 22	1.1699	93.7	5.05	5.76		
-6年目	H 23	1.1249	92.1	9.12	10.17		
-5年目	H 24	1.0816	91.3	11.64	12.59		
-4年目	H 25	1.0400	91.3	6.39	6.65		
-3年目	H 26	1.0000	91.3	5.54	5.54		
-2年目	H 27	0.9615	91.3	5.57	5.36		
-1年目	H 28	0.9246	91.3	4.45	4.11		
供用開始年度	H 29	0.8890	91.3			0.43	0.38
1年目	H 30	0.8548	91.3			0.43	0.37
2年目	H 31	0.8219	91.3			0.43	0.35
3年目	H 32	0.7903	91.3			0.43	0.34
4年目	H 33	0.7599	91.3			0.43	0.33
5年目	H 34	0.7307	91.3			0.43	0.31
6年目	H 35	0.7026	91.3			0.43	0.30
7年目	H 36	0.6756	91.3			0.43	0.29
8年目	H 37	0.6496	91.3			0.43	0.28
9年目	H 38	0.6246	91.3			0.43	0.27
10年目	H 39	0.6006	91.3			0.43	0.26
11年目	H 40	0.5775	91.3			0.43	0.25
12年目	H 41	0.5553	91.3			0.43	0.24
13年目	H 42	0.5339	91.3			0.43	0.23
14年目	H 43	0.5134	91.3			0.43	0.22
15年目	H 44	0.4936	91.3			0.43	0.21
16年目	H 45	0.4746	91.3			0.43	0.20
17年目	H 46	0.4564	91.3			0.43	0.20
18年目	H 47	0.4388	91.3			0.43	0.19
19年目	H 48	0.4220	91.3			0.43	0.18
20年目	H 49	0.4057	91.3			0.43	0.17
21年目	H 50	0.3901	91.3			0.43	0.17
22年目	H 51	0.3751	91.3			0.43	0.16
23年目	H 52	0.3607	91.3			0.43	0.16
24年目	H 53	0.3468	91.3			0.43	0.15
25年目	H 54	0.3335	91.3			0.43	0.14
26年目	H 55	0.3207	91.3			0.43	0.14
27年目	H 56	0.3083	91.3			0.43	0.13
28年目	H 57	0.2965	91.3			0.43	0.13
29年目	H 58	0.2851	91.3			0.43	0.12
30年目	H 59	0.2741	91.3			0.43	0.12
31年目	H 60	0.2636	91.3			0.43	0.11
32年目	H 61	0.2534	91.3			0.43	0.11
33年目	H 62	0.2437	91.3			0.43	0.10
34年目	H 63	0.2343	91.3			0.43	0.10
35年目	H 64	0.2253	91.3			0.43	0.10
36年目	H 65	0.2166	91.3			0.43	0.09
37年目	H 66	0.2083	91.3			0.43	0.09
38年目	H 67	0.2003	91.3			0.43	0.09
39年目	H 68	0.1926	91.3			0.43	0.08
40年目	H 69	0.1852	91.3			0.43	0.08
41年目	H 70	0.1780	91.3			0.43	0.08
42年目	H 71	0.1712	91.3			0.43	0.07
43年目	H 72	0.1646	91.3			0.43	0.07
44年目	H 73	0.1583	91.3			0.43	0.07
45年目	H 74	0.1522	91.3			0.43	0.07
46年目	H 75	0.1463	91.3			0.43	0.06
47年目	H 76	0.1407	91.3			0.43	0.06
48年目	H 77	0.1353	91.3			0.43	0.06
49年目	H 78	0.1301	91.3	-70.76	-9.21	0.43	0.06
合計				101.58	267.83	21.50	8.54
単純事業費計				172.34		21.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 八王子拡幅(残事業)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.17	1.0	0.17	
				事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-38年目	S 54	3.9461	86.9				
-37年目	S 55	3.7943	92.4				
-36年目	S 56	3.6484	94.8				
-35年目	S 57	3.5081	95.8				
-34年目	S 58	3.3731	96.8				
-33年目	S 59	3.2434	98.7				
-32年目	S 60	3.1187	99.5				
-31年目	S 61	2.9987	101.2				
-30年目	S 62	2.8834	101.0				
-29年目	S 63	2.7725	101.5				
-28年目	H 1	2.6658	104.2				
-27年目	H 2	2.5633	106.5				
-26年目	H 3	2.4647	109.1				
-25年目	H 4	2.3699	110.6				
-24年目	H 5	2.2788	110.9				
-23年目	H 6	2.1911	110.8				
-22年目	H 7	2.1068	109.9				
-21年目	H 8	2.0258	109.5				
-20年目	H 9	1.9479	110.4				
-19年目	H 10	1.8730	109.9				
-18年目	H 11	1.8009	108.4				
-17年目	H 12	1.7317	107.2				
-16年目	H 13	1.6651	105.7				
-15年目	H 14	1.6010	103.8				
-14年目	H 15	1.5395	102.3				
-13年目	H 16	1.4802	101.0				
-12年目	H 17	1.4233	99.6				
-11年目	H 18	1.3686	98.7				
-10年目	H 19	1.3159	97.6				
-9年目	H 20	1.2653	96.8				
-8年目	H 21	1.2167	95.6				
-7年目	H 22	1.1699	93.7				
-6年目	H 23	1.1249	92.1				
-5年目	H 24	1.0816	91.3				
-4年目	H 25	1.0400	91.3				
-3年目	H 26	1.0000	91.3				
-2年目	H 27	0.9615	91.3	5.57	5.36		
-1年目	H 28	0.9246	91.3	4.45	4.11		
供用開始年度	H 29	0.8890	91.3			0.16	0.14
1年目	H 30	0.8548	91.3			0.16	0.14
2年目	H 31	0.8219	91.3			0.16	0.13
3年目	H 32	0.7903	91.3			0.16	0.13
4年目	H 33	0.7599	91.3			0.16	0.12
5年目	H 34	0.7307	91.3			0.16	0.12
6年目	H 35	0.7026	91.3			0.16	0.11
7年目	H 36	0.6756	91.3			0.16	0.11
8年目	H 37	0.6496	91.3			0.16	0.10
9年目	H 38	0.6246	91.3			0.16	0.10
10年目	H 39	0.6006	91.3			0.16	0.10
11年目	H 40	0.5775	91.3			0.16	0.09
12年目	H 41	0.5553	91.3			0.16	0.09
13年目	H 42	0.5339	91.3			0.16	0.09
14年目	H 43	0.5134	91.3			0.16	0.08
15年目	H 44	0.4936	91.3			0.16	0.08
16年目	H 45	0.4746	91.3			0.16	0.08
17年目	H 46	0.4564	91.3			0.16	0.07
18年目	H 47	0.4388	91.3			0.16	0.07
19年目	H 48	0.4220	91.3			0.16	0.07
20年目	H 49	0.4057	91.3			0.16	0.06
21年目	H 50	0.3901	91.3			0.16	0.06
22年目	H 51	0.3751	91.3			0.16	0.06
23年目	H 52	0.3607	91.3			0.16	0.06
24年目	H 53	0.3468	91.3			0.16	0.06
25年目	H 54	0.3335	91.3			0.16	0.05
26年目	H 55	0.3207	91.3			0.16	0.05
27年目	H 56	0.3083	91.3			0.16	0.05
28年目	H 57	0.2965	91.3			0.16	0.05
29年目	H 58	0.2851	91.3			0.16	0.05
30年目	H 59	0.2741	91.3			0.16	0.04
31年目	H 60	0.2636	91.3			0.16	0.04
32年目	H 61	0.2534	91.3			0.16	0.04
33年目	H 62	0.2437	91.3			0.16	0.04
34年目	H 63	0.2343	91.3			0.16	0.04
35年目	H 64	0.2253	91.3			0.16	0.04
36年目	H 65	0.2166	91.3			0.16	0.03
37年目	H 66	0.2083	91.3			0.16	0.03
38年目	H 67	0.2003	91.3			0.16	0.03
39年目	H 68	0.1926	91.3			0.16	0.03
40年目	H 69	0.1852	91.3			0.16	0.03
41年目	H 70	0.1780	91.3			0.16	0.03
42年目	H 71	0.1712	91.3			0.16	0.03
43年目	H 72	0.1646	91.3			0.16	0.03
44年目	H 73	0.1583	91.3			0.16	0.03
45年目	H 74	0.1522	91.3			0.16	0.02
46年目	H 75	0.1463	91.3			0.16	0.02
47年目	H 76	0.1407	91.3			0.16	0.02
48年目	H 77	0.1353	91.3			0.16	0.02
49年目	H 78	0.1301	91.3	-0.24	-0.03	0.16	0.02
合計				9.78	9.44	8.00	3.18
単純事業費計				10.02		8.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道16号	八王子拡幅	4	2.7km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	全体事業費		備考
				数量	金額 (百万円)	
①	工事費				5,457	
	改良費				3,829	
		土工	m3	104,293	127	切土(54,093m3)、盛土(34,700m3)、捨土(15,500m3)
		軟弱地盤改良工	m3	55,000	470	
		法面工	m <sup>2</sup>	5,300	609	切土法面、補強法面工
		擁壁工	式	1	795	ブロック積擁壁、現場打ち擁壁
		管渠工	m	1,018	26	
		函渠工	m	86	50	
		排水工	m	5,300	124	
		中央分離帯工	m	2,021	152	
		雑工	式	1	1,477	縁石工、区画線工、電線共同溝、仮設工
	橋梁費				194	
		100m以上	m			
		100m未満	m	25	194	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,110	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	55,547	1,022	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	25,168	88	
	付帯施設費				324	
		交通管理施設工	式	1	324	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				9,723	
	用地費		m2	22,381	7,076	
		宅地	m2	22,381	7,076	
		田畑				
		山林・原野				
		その他				
	補償費		式	1	2,647	
③	間接経費		式	1	2,520	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				17,700	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道16号	八王子拡幅	4	2.7km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	残事業費		備考	
				数量	金額 (百万円)		
①工事費					754		
	改良費				534		
	土工	m <sup>3</sup>	4,279	5		切土(5,616m <sup>3</sup> )、盛土(3,602m <sup>3</sup> )、捨土(1,586m <sup>3</sup> )	
	軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	6,863	59			
	法面工	m <sup>2</sup>	851	107		切土法面、補強法面工	
	擁壁工	式	1	89		ブロック積擁壁、現場打ち擁壁	
	管渠工	m	179	5			
	函渠工	m	16	7			
	排水工	m	724	17			
	中央分離帯工	m	883	66			
	雑工	式	1	181		縁石工、区画線工、電線共同溝、仮設工	
	橋梁費				0		
	100m以上	m					
	100m未満	m	0	0			
	トンネル費						
	NATM	m					
	シールド	m					
	IC・JCT費						
	IC	箇所					
	JCT	箇所					
	舗装費				168		
	車道舗装	m <sup>2</sup>	21,057	153			
	歩道舗装	m <sup>2</sup>	10,216	14			
	付帯施設費				52		
	交通管理施設工	式	1	52			
	遮音壁	m					
②用地及補償費					24		
	用地費	m <sup>2</sup>	340	24			
	宅地	m <sup>2</sup>	340	24			
	田畑						
	山林・原野						
	その他						
	補償費	式	1	0			
③間接経費				式	1	302	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費						1,080	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道16号	八王子拡幅	4	2.7km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	2.7	15	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	31	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			46	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道16号	八王子拡幅	4	1.0km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	1.0	6	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			17	

#### 【単価等について】

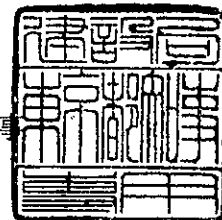
○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



26建総企第321号  
平成26年9月30日

国土交通省  
関東地方整備局長 殿

東京都知事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成26年9月19日付国関整企画第138号にて照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。



【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	東京都知事の意見
一般国道16号 八王子拡幅	継続	<p>国道16号は、都心から30～40km圏に位置する首都圏の主要都市間を結ぶ重要な道路である。八王子拡幅区間は、中央道の八王子ICと八王子市の中心部を結ぶため、交通が集中している。</p> <p>残る区間である中央道高架下～中野上町交差点間の4車線化整備は、渋滞の緩和や地域の安全性向上に資することから、必要な予算を確保し、本年4月に公表した平成28年度の開通見通しを遵守されたい。</p>

※貴都の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。